

□□□□□□

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ
〒028-1392 (住所不要)
山田町役場総務課情報係
(☎82-3111内線417)へ。

三正月

《前号の続き》

行事の一番多いのが、小正月だろうなあ、まづ15日の晩に男の子たちは、鬼を装って、泣く童はいねえがアなどと大声で小さな子どもがいる家をまわり、これも祝事の行事であつて子どもたちはご祝儀をもらい、女の子たちも船主宅へ行き、「スルメわりに来やんしたと」言つてスルメ大漁時の手伝いに、これまでのご祝儀をもらつて各漁家を祝い、まわるる風習があつた。今、懐かしく思い出しながらペンを取る。

さらには、カラスが農作物にいたずらをし

ないようにと、餅やミズキ団子を与え、ネズミにも収穫した穀物を食わぬ様にと同じように与えたものだ。

また船主では、15日の晩はカコ揃えと言つて、年間雇う人を招待してごちそうを振る舞い、その席場で船頭と機械士を決め、若い者

頭のオモテまわりが指名され、カコ揃えの行事は終り、飲めや、歌えの大にぎわいで夜が更ける。自分もかつては、そんな時代もあつたので懐かしく思い出している昨今です。(60年も昔の話です)

小正月には青年会の演芸会だ。若い男女が一堂に集い、自作自演の芸を一生懸命練習して、地域の老若男女を慰めた催しもあつた事を、申し添えてドットおわれ。

西館 隆(船越・79)

逃げるが勝ち

車事故、他の人が遭遇しているものとの意識の中、現実が今我が身の上、傷害、その後遺症、何よりも「心」の痛みの苦しさを逃れんとしている。日常生活においてはもちろんの事、生活基盤においてまで何かと世話厄

介になつて親しい友人にお会いし、新しい年のお祝いと日頃のお礼を厚く申し上げました。被災後の社会情報を受ける中の雑談の中、テレビを見られたかと聞かれた。川柳番組にお前様の作句が放送されたのとこどだった。応募したのが10月か11月であり、すっかり忘れていた。採用され放送されるなんて夢にだに考えてもみなかった。被災、傷害、そして死に至るまでの“生”の関わりの中で「風流」なんてを嗜むことの余裕なんてある訳がない。いてした何でも投句となるが、テレビを「目」にしたその瞬間、「親」の語句が映つた。

俺にも親があつた。大津波を越えて今に生きてるは、いつでもどこでも津波時の対応の語り(意見)であり“何よりも逃げるが勝ち”であつた。

投稿した句あのとときの親の意見が 今に生き

山崎 卓三(大浦・?)

やまだ

一步、一步と少しずつ復興していく姿を広報やまだで読み、またあれこれ予想して心から早く元の山田、いやそれ以上の「やまだ」に築き上げる事を祈つ

ています。大変ですが、よろしくお願ひ致します。あそこ、あのところ、私の大切な大切な山田です。

萬 キソ(埼玉県入間市)

しんさいにあわれた方々へ

はじめまして。私たちは奈良県大和郡山田市に住んでいる尾川真輝と竹田玲奈と高本美羽です。2011年3月11日のしんさいから2年がすぎました。

今でも家族の中でまだ行方不明の方もたくさんいると思ひますが、くじけずにがんばってください。子どもの私たちには、なにもお手伝いできませんが、これからもずっと応援しています。そしてふつ興をねがっています。

郡山北小学校5年より

やまだ文芸広場

月を背に 夜桜映える 春の宵

人間という字はよくできている人は人と人との間で生きています

内館 洋一(飯岡・69)

三月の 暦よあの日 忘れない
三月の 海よあの日を思い出す
三月よ 小春日和の 日々多し

芳賀 誠一(豊間根・72)

津波あと

気なげに咲いてる 水仙花

佐藤 兼男(荒川・86)

春うらら仮設の山でうぐいすの初音を聞きて 夫と和みぬ鎮魂の川面に浮かぶ赤灯は 行きつもどりつ 里の恋しく

菊地 サカエ(織笠・78)

母の日

もうすぐ、母の日：遠い大船渡にいる父と母に ありがとうの一言が、いつか言えたらなあ。

佐藤 啓子(山田・?)

お母さんのうた
お母さんのうた
皆んなに聞かせたい
母さんのうた

皆んなにお母さんがある
なんでも良く知って居り
なんでも良く教えてくれる
お母さん
でも母さんに追い付くことが出来ないのが一つある
それは年齢の差である
なんぼがんばっても
追いつかない
お母さんとの年齢の差も
開くこともない
皆んなのお母さん
偉いお母さん



山崎 卓三(大浦・?)



菊池利夫さん (63)

これからの医療現場については「沿岸地区は住民数に対する医師の数が少ないのが現状です。在宅医療や訪問介護、開業医の方や行政の連携が重要で、皆さんが元気に暮らせるよう山田の医療を守っていきたい」と、力強く話していました。

県立山田病院院長に 菊池利夫さんが就任

県立山田病院の院長に菊池利夫さんが4月1日から就任しました。

菊池さんは、栃木県日光市(旧今市市)の出身。大学を卒業後、心臓外科、循環器科を専門として東京女子医大に勤務。その後、榊原記念病院副院長、榊原サピアワーククリニック院長を歴任しました。これまでの手術は子どもの先天性の心臓病など、2000件にもおよびます。菊池さんは宮古市

出身の友人から県立宮古病院の循環器科の常勤医が不足している状況を知り、23年1月に着任。24年4月には統括副院長に就任しました。現在は、山田病院の診療に加えて月2回岩泉町の仮設住宅内に診療所を開設し診療にあたるなど、沿岸地区の人々の健康を守るため奔走する日々です。医師としてうれしかったことを尋ねると「病気で動けなかった子どもが元気に走り回るようになったことです。また医師や看護師になられた方もいて、会いに来てくれたこともありました」と笑顔で話します。

キッチンスタジオ No.53 ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、「お弁当の副菜をいっぱいつめよう」をテーマとした「野菜たっぷりポテトサラダ」です。

【材料 (2人分)】

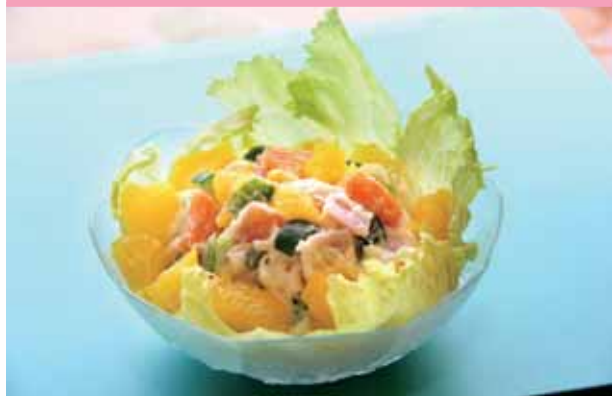
ジャガイモ…60g^ア キュウリ…15g^ア 玉ネギ…10g^ア
ニンジン…10g^ア レタス…10g^ア ロースハム…10g^ア
グリーンリーフ…10g^ア コーン缶…大さじ1杯
みかん缶…15g^ア マヨネーズ…大さじ2杯
塩…適量 コショウ…適量

※ジャガイモ、野菜類はきれいに洗っておく。

【作り方】

- ① キュウリは板ずりをしてサッと洗い、5ミリの厚のいちょう切りにする。ニンジンは5ミリの厚のいちょう切りにしたあとゆでる。玉ネギは短めの薄切りにして塩でもみ水にさらす。レタスは2割角に切る。野菜類は調理のあと、それぞれ水気を切る。
- ② ロースハムは1割のさいの目切りにする。コーン缶とみかん缶はザルにあげ、キッチンペーパーなどで水気を切る。
- ③ 皮をむいたジャガイモをひと口大に切り、水からゆでて柔らかくなったら湯切りをする。これを容器(ボール)にいれてよくつぶし、熱いうちに塩・コショウを少々振って下味をつける。
- ④ ③に、①と②で下ごしらえをした野菜類とロー

野菜たっぷりポテトサラダ



スハムを加え混ぜ、マヨネーズで調味する。

- ⑤ 食べやすい大きさにちぎったグリーンリーフを敷き、④を盛り付けてみかんとコーンをトッピングすると出来上がり。

【一ロメモ】

お好みでリンゴやレモン汁少々を加えてもおいしいです。また、ロースハムは下ゆでしてから使うと塩分カットにもなります。